

11月9日(日)

令和八年度 学士入学・一般編入学試験問題

文学部 日本文学科

専門科目

―注意事項―

- 1 問題は3ページ、解答用紙は1枚である。
- 2 解答はすべて別紙解答用紙に縦書きで記入すること。
- 3 試験時間は60分である。

T11A・Y11A

省略

の箇所は、著作権の都合上省略しています。

このページには問題はありません。

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

省 略

『大和物語』

(注) ○檜皮屋―檜の皮で屋根をふいた家。 ○土屋倉―土蔵。 ○階の間―寢殿の正面中央の階段の前にある二本の柱の間。

○鶯も鳴く―鶯の鳴き声は「梅の花見にこそ来つれ鶯のひとつとくんと厭いとひしもをる」(『古今和歌集』)と詠まれる。

○小舎人童―近衛中将・少将が召し連れる少年。 ○うつぶし染め―薄墨色に染めること。

問一 傍線部 (a)・(b)・(c)・(d)・(e) を現代語訳しなさい。

問二 A B の和歌がどのようなやりとりであるかを一一〇字程度で説明しなさい。なお、句読点や記号(カッコなど)は字数に含める。
以下同じ。

問三 波線部 (1) をわかりやすく解釈しなさい。

問四 波線部 (2) を文法的に説明した上で、現代語訳しなさい。

問五 波線部 (3) に示されている女の家の状況を三〇字程度で説明しなさい。

問六 波線部 (4) のように男が思ったきっかけを一五〇字程度で述べなさい。

問七 波線部 (5) を品詞分解し、各語について文法的な説明をしなさい。

【例】人(名詞) など(副助詞) 見え(ヤ行下二段・未然形) ず(助動詞・打消・終止形)

問八 宗貞は「天つ風雲の通ひ路吹きとぢよをとめの姿しばしとどめむ」(『古今和歌集』) を詠んだ歌人である。その出家後の名を答えな

さい。

問九 波線部(6)の掛詞を説明しなさい。

